

独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校
看護学科・助産学科

2025 SCHOOL GUIDE



OKAYAMA

National Hospital Organization
Okayama Medical Center
Okayama Nursing and Midwifery School

看護することが喜びとなる 教育を目指して私たちは 情熱を傾けています



独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター 院長

学校長 柴山 卓夫

本校は戦後全国に3カ所開設された看護教育のモデルスクールの一つとして、昭和23年に誕生した歴史と伝統のある看護学校です。令和3年度より看護学科の一学年定員を80名とし、3学年あわせて240名が看護師を目指して勉強に励んでいます。また、定員16名の助産学科も併設しています。卒業生は約5,200名以上となり、全国各地の医療機関や教育機関などさまざまな方面で活躍しています。本校では人間として立派に成長することが看護教育の基本であると考えていますので、人間教育にも力を注いでいます。

「博愛」「叡智」「自律」を教育理念として、人間性豊かな看護師になって欲しいと考えております。そのために必要な知識、技術を自ら学び成長できるように教職員一同は教育に情熱を傾けており、非常に高い看護師国家試験の合格率を誇っています。入学後は一般教育や基礎的な医学を学び、引き続き病気の診断、治療、看護など専門的な学習をしていきます。ある程度学習が進むと実習施設で実際に患者さまと関わりを持って学習する実習が始まり、看護師、助産師としての仕事を実感することになります。この実習は看護教育で重要な位置を占めます。母体病院を持たず実習がスムーズに出来にくい学校、大学が多い中で、本校は母体病院として隣接した岡山医療センターという609床の病床を持つ実習施設があり、大変恵まれた環境にあります。



副学校長 安藤 恵子

岡山医療センターは全国に140ある独立行政法人国立病院機構に属する病院で「今、あなたに、信頼される病院」を理念としています。ユニセフから先進国では初めて「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けました。成育医療、移植医療、小児疾患、循環器疾患、腎疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、外科的疾患など、多くの領域で高度な医療を提供する中核的病院です。海外からの患者や研修医の受け入れなど、国際協力にも力を注いでいます。本校の卒業生もたくさん働いており、直接学生の講義や実習のサポートをしてくれます。また、医師の講師陣も多士済々で恵まれた教育環境で勉強できることが本校の誇りです。卒業後は岡山医療センターをはじめとして、全国に広がる国立病院機構の病院へ就職し、活躍しています。

ぜひ、本校の充実した教育環境の中で楽しく学生生活を送りながら、看護師・助産師になる夢を実現して頂きたいと思います。



ロゴマーク



『十字』+『発展』をかたどったイメージは看護助産学校のさらなる飛躍を意味し、伝統や権威、知性感に対するの憧れを表現したものです。尚、デザインは専門のCIデザイナーによる数点の作品から当校の学生の投票により選んだものであり、未来感、躍動感にあふれています。そして“スカイブルー”はスクールカラーとして学生達にも親しまれています。

昭和23年5月
昭和25年4月
昭和50年4月
平成13年4月

平成16年
平成19年4月
平成23年4月

平成31年4月
令和 3年4月

国立岡山病院附属模範高等看護学院開設
国立岡山病院附属高等看護学院に名称変更
国立岡山病院附属看護学校に名称変更
国立岡山病院附属看護学校と国立療養所南岡山附属看護学校が統合し、国立病院岡山医療センター附属岡山看護学校として新しく開校しました。1学年定員80名、総数240名の大型校
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護学校に名称変更
1学年定員120名に変更
助産学科（修業年限1年、定員20名）開設
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護助産学校に名称変更
助産学科入所定員16名へ変更
看護学科1学年定員80名へ変更

アドミッションポリシー 入学受け入れ方針

看護学科

1. 人への愛情と生命を大切にできる思いやりが持てる人
2. 豊かな感性を持ち、人とのコミュニケーションのとれる人
3. 誠実で責任感のある行動がとれる人
4. 探究心を持ち、自ら学習し続け、努力できる人
5. 自己の生活を整え、健康管理のできる人

助産学科

1. 助産師になる明確な動機と強い意思をもち、論理的思考と優れたコミュニケーション能力を有している人
2. 看護の基礎的能力を有し、助産の専門的知識と実践能力を身につけるための自己学習能力の高い人
3. 生命の尊厳に対する感性と倫理観をもち、責任をもった行動のできる人
4. 主体的に行動する力を持ち、人との協働を通じて学び合うことができる人
5. 生涯を通じて自己研鑽する姿勢をもち、助産師として国立病院機構及び社会に貢献しうる人

教育理念

本校は、「博愛」「叡智」「自律」を教育理念としています。
3つの柱が、バランスよく調和し、一人の人間、更に医療チームの一員としてしっかりと倫理的判断力をもって行動できる看護及び助産の実践者を育成します。



教育目的

本校は、博愛・叡智・自律の理念のもと、豊かな知識と確かな技術をもって看護及び助産を創造し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的としています。

教育目標

看護学科

1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的側面から総合的に理解する能力を養う。
2. 対象を中心とした看護を提供するために他者に思いを寄せ、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
3. 生命と人間存在の尊厳を基盤に、個人の価値観や人権を尊重し、専門職業人としての責任を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を養う。
4. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防及び健康の回復に関わる看護を、健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び他職種との役割を理解し、多職種と連携・協働し、多様な場で生活する人々への看護を提供する基礎的能力を養う。
7. 専門職業人として看護を探究し学び続ける姿勢を持ち、看護の質の向上を図る基礎的能力を養う。

助産学科

1. 助産師の役割と責務を自覚し、女性と子ども並びに家族の尊厳と権利を尊重する倫理観及び専門職として自律する能力を養う。
2. 妊産褥婦及び胎児・新生児の健康状態を診断し、妊娠・分娩・産褥がより健康で安全に経過し、育児を主体的に行えるよう、根拠に基づき継続的に支援する能力を養う。
3. 女性の生涯を通じて、ライフサイクル各期における性と生殖に関する健康課題に対して、継続的に支援する能力を養う。
4. 安心して子どもを産み育てるために、多職種と連携・協働しながら、個人及び社会にとって必要な地域の社会資源の活用や調整を行えるための能力を養う。
5. 多様化する社会のニーズと、高度化する医療に対応できるよう、常に自己研鑽し続ける姿勢を養う。

看護学科 3年間のキャンパスライフカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月
1年次 看護学生としての自覚と責任を身につけます。看護について興味・関心を深め、熱いチャレンジ精神を磨きます。	入学式 学生自治会親睦会表彰式授与式	防災避難訓練	SP演習	基礎看護学実習Ⅰ その1 オープンスクール	夏季休業
2年次 社会人としての人間性と専門職としての知識と技術を磨き、看護の心を深めます。	学生フォーラム 学生自治会親睦会表彰式授与式	防災避難訓練 基礎看護学実習Ⅱ		オープンスクール	夏季休業
3年次 3年間の集大成です。恵まれた実習環境と臨地での患者さん、先輩看護師との関わりをとおして成長することができます。	成人・老年・小児・母性精神看護学実習 地域・在宅看護論実習	防災避難訓練	成人・老年・小児・母性精神看護学実習 地域・在宅看護論実習		夏季休業 オープンスクール



入学式 決意を署名



オープンスクール



献血ボランティア



クリスマス聖歌隊



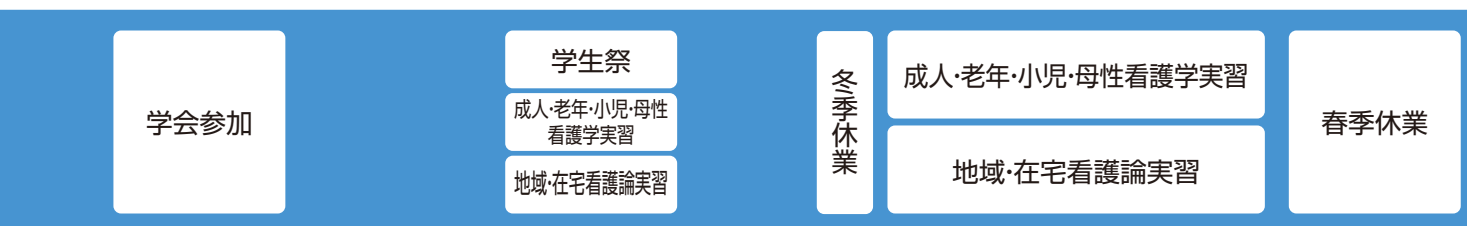
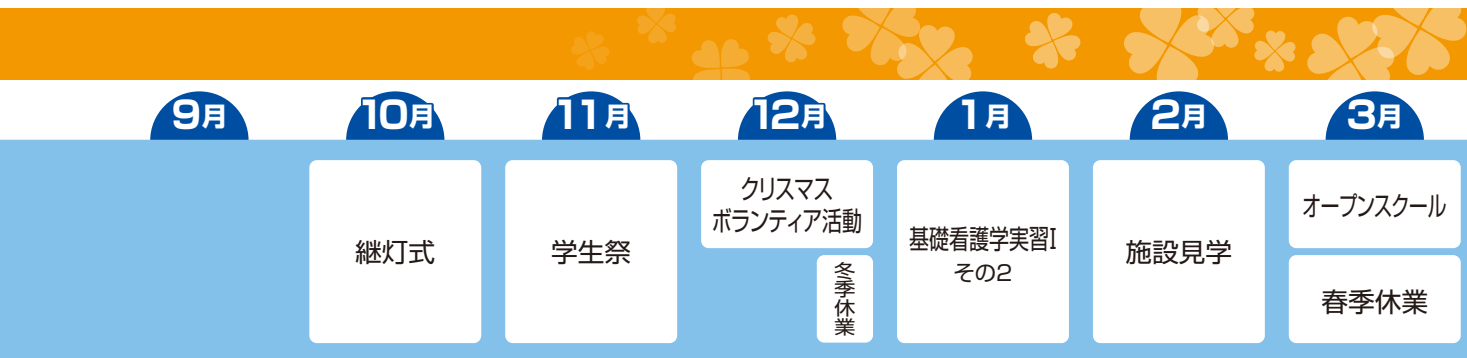
学会参加



校内演習



継灯式



令和8年度
学生募集中!

看護学科				
区 分	特別推薦入試	一般推薦入試	社会人入試	一 般 入 試
入学定員 (80名)	定員の5割程度		定員の1割程度	定員の4割程度
出願期間 消印有効	令和7年9月16日(火)～9月29日(月) 消印有効			A日程 令和7年12月15日(月)～令和8年1月8日(木) 消印有効 B日程 令和8年 1月22日(木)～令和8年2月5日(木) 消印有効
試 験 日	令和7年10月10日(金)			A日程 令和8年1月20日(火) B日程 令和8年2月17日(火)
試験科目	面 接	小 論 文 面 接	小 論 文 面 接	国語：現代の国語・言語文化(近代以降の文章) 英語：英語コミュニケーションⅠ 数学：数学Ⅰ (全科目・全問マークシート方式) 面接
合格発表	令和7年10月27日(月)			A日程 令和8年1月30日(金) B日程 令和8年3月 4日(水)

助産学科 1年間のキャンパスライフカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
行事	入学式 表彰式・親睦会	防災避難訓練 学生フォーラム		オープンスクール	夏季休業 オープンスクール	
演習・実習	ガウンテクニック 手洗い 導尿 新生児沐浴 イグザミネーション 妊産婦のフィジカル	シミュレーション教育 妊婦健康診査 妊婦健診OSCE	分娩直接介助 新生児計測 新生児蘇生技術 超音波画像診断	臨地実習開始 助産学実習ⅢⅣⅤ		助産学実習ⅢⅣⅤ 両親学級開催 地域母子保健実習 分娩オンコール実習

助産学科の風景



助産学科 学生からのメッセージ

助産学科(第15期生) 松本 さん

私は、自身の出生の話を聞いたことをきっかけに命の誕生の瞬間に立ち会える助産師という職業に魅力を感じ、将来の夢になりました。母性看護実習の学びの中で、育児に悩む母親に寄り添う助産師の姿を見て、お産にとどまらない支援の重要性を実感し、周産期の母子を助産師として支援していきたいという思いが強まりました。

現在は、夢のスタートラインに立てた喜びを感じながら、助産に関する学習に取り組んでいます。本校では、入学後すぐに分娩介助に必要な知識や技術を学ぶ講義が始まり、実践に即した技術の習得に仲間と協力し合い、日々励んでいます。また、助産学科の先生方だけでなく、隣接する岡山医療センターの医師や助産師、栄養士など、様々な職種の方から専門的な講義を受けられることも大きな魅力です。

このような環境の中で、理想の助産師像を目指し、知識・技術の一つひとつ積み重ねていきたいと思っています。

「社会人学生のための専門実践教育訓練給付制度」の利用者の声

看護師の同期生からこの制度を利用すると聞き、教育訓練給付金のことを知りました。入学後は、提出書類の認定日や、履修に問題なく申請できる日程などをハローワークと学校事務の窓口の方々に相談しながら、月に1度ハローワークへ通いました。県外の実習もありましたが、1年間問題なく利用することができました。金銭面への不安は、社会人入学者にとって大きいものですが、この制度を利用することでその不安が軽減し、講義や実習に集中することができたため、利用してよかったと心から感じています。

(助産学科卒業生)



令和8年度
学生募集中!

助産学科			
区 分	特別推薦入試(指定校)	一般推薦入試(指定)	一 般 入 試
入学定員 (16名)	定員の5割程度		定員の5割程度
出願期間 消印有効	令和7年9月16日(火) ～9月29日(月) 消印有効		令和7年12月1日(月) ～12月22日(月) 消印有効
試 験 日	令和7年10月14日(火)		令和8年1月9日(金)
試験科目	母性看護学 小 論 文 面 接		母性看護学 英 語 面 接
合格発表	令和7年10月27日(月)		令和8年1月21日(水)

豊富な 講師陣

経験豊かな講師陣によるサポート

講師は、各専門家教授、医療センターや、実習施設の専門の医師、看護師、助産師、その他の医療スタッフ、看護師・助産師の経験を経て教員となった学校スタッフが臨床経験をふまえて講義を実践し、みなさんの学習を支援します。



専門家による1人1台のPCを使用した講義（情報処理室）



模擬患者による演習



血管模型を使用した採血の校内実習



模擬患者による演習



岡山医療センターの医師による講義



教員による演習授業



外国人講師による生きた英語の授業

ハイレベルの教育施設で感性を養い、 フィジカルスキルを身につける。

充実の
教育施設と
設備

みなさんの学習が効果的となるように設備を整えています。

講義の場では、パソコンやDVD等の視聴覚教材が各教室に設置されています。

病棟に類似した環境の看護実習室や、グループワークに最適な演習室があります。各自が使用できるパソコンを備えた情報処理室もあります。図書室には16,000冊以上の蔵書があり、文献検索システムの充実、ビデオライブラリーなど、学生各自が十分に自己学習できるように教材・物品を意識して取り揃えています。

さらに、ホールラウンジ、体育館、学生食堂、屋外にはテニスコート等、学生生活環境の充実を図っています。



教室



教室



図書室



学生食堂



助産学科実習室



生体シミュレーター



卒前演習



テニスコート



岡山医療センター西棟8階 ホスピタルスタジオでの多重課題演習



看護実習室



体育館

主な 実習施設

最新医療施設、専門医療施設の中で、患者さんに直接
関わりながら、現場を肌で感じながら看護が学べます。

専門性の高い実習施設



WHO・ユニセフから先進国では世界で最初の
「赤ちゃんにやさしい病院」
の認定を受けました。

学びの中に看護の専門性を実感し、追究したいと
思える実習を目指して、下記の実習施設において
各看護学実習を行います。



小児看護学実習

看護学の実習により

現場の知を深める



看護学科 学生からのメッセージ

看護学科1年(第27期生) 山田 さん

私は「誰もが安心して医療を受けられる未来をつくりたい」という思いから、看護の道を志し、本校に入学しました。大切な命に向き合う現場で、知識や技術だけでなく、対象に心から寄り添う力を身につけ、困難に直面する人に、希望を届けられる存在になりたいと思います。私の目指す看護を実現するために、ここで出会う全ての学びを自分の糧とし、一步ずつ成長していきたいと思っています。

今はまだ小さな力かもしれませんが、今後、誰かの「生きる」を支えられる人になりたいと思います。

看護学科2年(第26期生) 春名 さん

私は小さい頃から看護師になることが夢でした。本校に入学し、勉強が進むにつれ一歩一歩、夢に近づいているように感じます。1年次は、解剖生理学や病理学など専門的な講義や、看護に必要なスキルを身につけるための技術試験があります。試験や実習等ありますが、先生方のご指導のもと、切磋琢磨して充実した日々を送っています。学校生活では楽しいと感じることが多く、本校に入学して本当に良かったと思っています。

2年次も勉学に励み、将来はこの人に看護をしてもらえて良かったと思ってもらえるような看護師になりたいです。

看護学科3年(第25期生) 樋野 さん

私は、中学生の時入院した経験があり、入院中とても不安でしたが看護師にやさしく接していただき安心して入院生活を過ごすことができました。その経験から私も看護師になりたいと思うようになり当校に入学いたしました。当校は岡山医療センター附属の看護助産学校であり、講義・実習において恵まれた教育環境で学習することができます。また、困ったことなどがあったときには先生方に相談しやすく手厚く支援していただきます。

現在、臨地実習で患者さんに必要な看護とは何か、患者さんと向き合い、内省しながら看護を探究しています。これから実習、看護研究、国家試験など様々な課題がありますが、同じ夢を持つ仲間と支え合い頑張って乗り越えていきたいと思っています。

体験学習を通じて

臨地実習で遭遇する場面や、看護師として直面する場面を設定し、基本的な看護技術の演習を行います。校内実習は、病院に類似した環境で実施し、模擬患者での演習やビデオ録画による振り返りを行います。



静脈血採血の練習



フィジコモデル人形でのフィジカルアセスメント



車椅子の技術練習

看護の視点を養う

3年間の約半分は臨地実習です。教室で学んだことを病院で実践します。「看護の視点」で考え、患者の状況に応じた看護を実践しながら学びます。



母性看護学



成人看護学



カンファレンス場面

主な実習施設

《看護学科実習施設》

- ◆ 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
主として実習を行う施設です。病床数609床の高度総合医療施設として位置づけられ、中国グループの「循環器、成育医療」に関する中心的施設です。WHO・ユニセフから先進国では世界で最初の「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けています。
- ◆ 独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター
- ◆ 公益財団法人慈圭会 慈圭病院
- ◆ 訪問看護ステーション、老人保健施設、老人福祉施設
- ◆ 地域包括支援センター、社会福祉協議会、居宅介護支援事業所など

《助産学科実習施設》

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| ◆ 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター | ◆ 社会医療法人鴻仁会岡山中央病院 |
| ◆ 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター | ◆ 医療法人サン・クリニック |
| ◆ 独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター | ◆ 一般財団法人赤堀クリニック |
| ◆ 独立行政法人国立病院機構 高知病院 | ◆ かねこ助産院 |
| ◆ 独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター | ◆ たんぽぽ助産院 |
| | ◆ うちかど助産院 |
| | ◆ 岡山市保健所、総社市役所、津山市役所 |

新たな
自分の
可能性との
出会い

科学的根拠に基づいた看護実践で確実な一歩を

● 看護学科 教育課程

修業年限3年 全日制

3年課程〈104単位／3030時間〉

卒業時に授与される称号：専門士（医療専門課程）／卒業時に取得できる資格：看護師国家試験受験資格

教育内容			授業科目	単位	時間	1年次													2年次													3年次												
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
基礎分野	科学的思考の 基盤 社会の理解・ 人間と生活・ 社会の理解	論理学	1	30																																								
		教育学	1	30																																								
		情報科学Ⅰ(情報処理)	1	15																																								
		情報科学Ⅱ(統計処理)	1	30																																								
		情報科学Ⅲ(保健医療における情報通信技術)	1	15																																								
		生活科学	1	30																																								
		外国語Ⅰ(英文の解釈)	1	30																																								
		外国語Ⅱ(英会話)	1	30																																								
		社会学	1	30																																								
		家族関係論	1	15																																								
		心理学	1	30																																								
		人間関係論	1	30																																								
		倫理学	1	30																																								
		保健体育	1	30																																								
小計				14	375	105				105				120				15				15				15																		
専門基礎分野	人体の 構造 機能	解剖生理学Ⅰ(細胞・組織・消化・吸収・代謝・内分泌)	1	30																																								
		解剖生理学Ⅱ(呼吸・循環・血液・免疫)	1	30																																								
		解剖生理学Ⅲ(脳神経・感覚器・運動器)	1	30																																								
		解剖生理学Ⅳ(腎・泌尿器・生殖器)	1	30																																								
		生化学	1	15																																								
		病理学総論	1	15																																								
	疾病の成り 立ちと 回復の 促進	病理学Ⅰ(消化器・内分泌)	1	30																																								
		病理学Ⅱ(呼吸器・循環器・血液)	1	30																																								
		病理学Ⅲ(脳神経・感覚器・運動器)	1	30																																								
		病理学Ⅳ(腎・泌尿器・生殖器・免疫)	1	30																																								
		臨床治療論	1	30																																								
		微生物学	1	15																																								
	社会 保健 支援と 制度	薬理学	1	30																																								
		栄養学	1	15																																								
		臨床判断Ⅰ(変化への気づきと判断：呼吸器疾患)	1	15																																								
		臨床判断Ⅱ(変化への気づきと判断：消化器疾患)	1	15																																								
		保健医療論	1	15																																								
		公衆衛生学	1	15																																								
	基礎看護学	基礎看護学	社会福祉	1	15																																							
			関係法規Ⅰ(法令)	1	15																																							
			関係法規Ⅱ(看護の法と責任)	1	15																																							
			健康教育論	1	15																																							
			看護学概論	1	30																																							
			共通基本技術Ⅰ(コミュニケーション)	1	15																																							
共通基本技術Ⅱ(安全・安楽の技術)			1	30																																								
共通基本技術Ⅲ(フィジカルアセスメント)			1	30																																								
共通基本技術Ⅳ(看護過程と臨床判断)			1	30																																								
生活援助技術Ⅰ(生活行動を整える技術：環境・活動)			1	30																																								
生活援助技術Ⅱ(生活行動を整える技術：食事・排泄)		1	30																																									
生活援助技術Ⅲ(生活行動を整える技術：清潔)		1	30																																									
診療関連援助技術Ⅰ(診療に伴う援助技術：与薬)	1	30																																										
診療関連援助技術Ⅱ(診療に伴う援助技術：検査・治療)	1	30																																										
臨床看護総論(主要症状別看護)	1	15																																										
看護研究	1	30																																										
小計				22	480	150				240				30				0				30				30																		
地域 看護 在宅	地域 看護 在宅	生活を支える看護Ⅰ(地域のなかでの暮らし)	1	15																																								
		生活を支える看護Ⅱ(地域における支援)	1	15																																								
		在宅療養を支える看護Ⅰ(概論)	1	30																																								
		在宅療養を支える看護Ⅱ(健康維持の看護)	1	30																																								
		在宅療養を支える看護Ⅲ(健康障害の看護)	1	15																																								
		在宅療養を支える看護Ⅳ(看護技術)	1	15																																								
		小計	6	120	15				15				15				60				15				0																			
		成人 看護学	成人看護学概論(対象理解及び経過別の理解・成人保健)	1	30																																							
	成人看護援助論Ⅰ(急性期：周手術期・救急・クリティカルケア)		1	30																																								
	老人 看護学	老人 看護学	成人看護援助論Ⅱ(回復期)	1	30																																							
成人看護援助論Ⅲ(慢性期：自己管理支援、長期療養者の看護)			1	30																																								
成人看護援助論Ⅳ(終末期)			1	30																																								
成人看護援助論Ⅴ(看護過程演習：急性期回復期・慢性期)			1	30																																								
小計			6	180	0				90				45				45				0				0																			
小児 看護学			老年看護学概論	1	15																																							
			老年看護援助論Ⅰ(健康維持の看護)	1	30																																							
小児 看護学			小児 看護学	老年看護援助論Ⅱ(健康障害時の看護)	1	30																																						
		老年看護技術論		1	15																																							
		小計		4	90	0				15				50				25				0				0																		
	小児看護学概論	1		30																																								
	小児健康論	1		30																																								
	小児看護援助論	1		30																																								

● 助産学科 教育課程 修業年限1年 〈31単位／960時間〉

卒業時に取得できる資格：助産師国家試験受験資格・受胎調節実地指導員認定講習修了・新生児蘇生法(Aコース)

教育内容	科目名	単位数	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎助産学	助産学概論	1	15												
	母子の基礎科学	1	30												
	ウィメンズヘルス論	1	30												
	家族の心理・社会学	1	30												
	助産学研究	2	45												
助産診断・技術学	周産期の診断と技法	2	45												
	助産診断・技術学I(妊娠期)	2	45												
	助産診断・技術学II(分娩期)	2	45												
	助産診断・技術学III(産褥期・新生児)	2	45												
	助産技術演習	1	30												
	健康教育技法	1	30												
地域母子保健	地域母子保健	2	45												
助産管理	助産管理学	2	30												
小計		20	465												
臨地実習	助産学実習I(妊娠期)	2	90												
	助産学実習II(分娩期)	3	135												
	助産学実習III(産褥期・新生児)	2	90												
	助産学実習IV(継続事例)	1	45												
	健康教育実習	1	45												
	地域母子保健実習	2	90												
小計		11	495												
合計		31	960												

母子を取りまく社会情勢の変化に伴い、母子とその家族のニーズも多様化しており、社会の要請に応えられる専門職として、助産師に期待される役割は増大しています。医師を中心とする関連職種との関係性の中で、助産師としての信念や価値観に基づいて意思決定し主体的に役割を果たすことができるような教育課程となっています。



安心のサポート

貴方の目指す未来がそこに...

就職率
100%

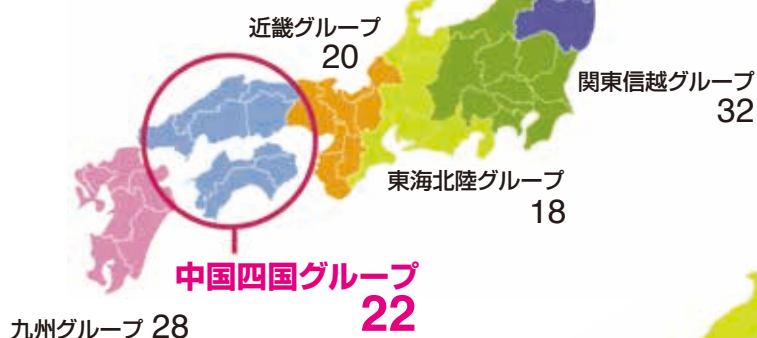
国立病院機構の医療センター病院へ
多数就職しています

国立病院機構は
日本最大の
病院グループです



理念 Philosophy

私たち国立病院機構は国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます



全国 **6** グループ
140 病院

病床数 約50,000床
職員数 約64,000名
看護職員数 約42,000名

中国四国グループ
22 病院

病床数 8,400床
職員数 約11,500名
看護職員数 約7,400名



看護学科 卒業生のメッセージ

第24期生 末吉 さん (国立病院機構岡山医療センター就職)

私は幼い頃から将来の夢が看護師になることでした。姉の影響で本校を知り、オープンスクールに参加して教育体制や明るい雰囲気、魅力を感じ入学を決めました。1年次は基礎的な講義を中心に実践的な看護技術の演習を行いました。2・3年次はより専門的な看護領域である、成人・老年・小児・母性・精神看護学及び地域・在宅看護論などの科目を学びました。医療の第一線で活躍される母体病院の医者と看護師による専門的な講義を受け、臨地実習で役立てることが出来ました。

2年次から始まった臨地実習では患者さんの病態理解や個別性のある援助の実施に難しさを感じ悩みました。しかし、病棟師長を始めスタッフの方々や先生方が指導してくださり、友人や先輩方が支えてくれたことで最後まで頑張ることが出来ました。仲間と支え合い励まし合った3年間は私にとって人生の糧です。今後も勉学に励みよりよい看護実践のため日々精進していきたいと思います。

第24期生 笹井 さん (国立病院機構岡山医療センター就職)

私はこの3年間、様々な経験、患者さんとの出会い、仲間と切磋琢磨する時間を過ごし、勉学に励んできました。その中で看護とは何か考え、自分の理想とする看護師像を見つけることが出来ました。また、講義や臨地実習を通して、看護師になるための知識、技術、態度を身につけ、看護師としての責任ややりがいを感じることができました。臨地実習中は、患者さんにとってどのような看護がよいのか、学生として何ができるのかを日々考え続け、時には挫折そうになる時もありました。しかし、同じ目標に向かって共に成長し続ける仲間、熱心に指導して下さる先生方、指導者の方、いつも暖かく見守ってくれる家族に支えられ、看護師への道を進み続けることが出来ました。

これからも更に学びを深め、自身のなりたい看護師像に向かって突き進んでいきたいと思っています。

看護学科

主な就職先

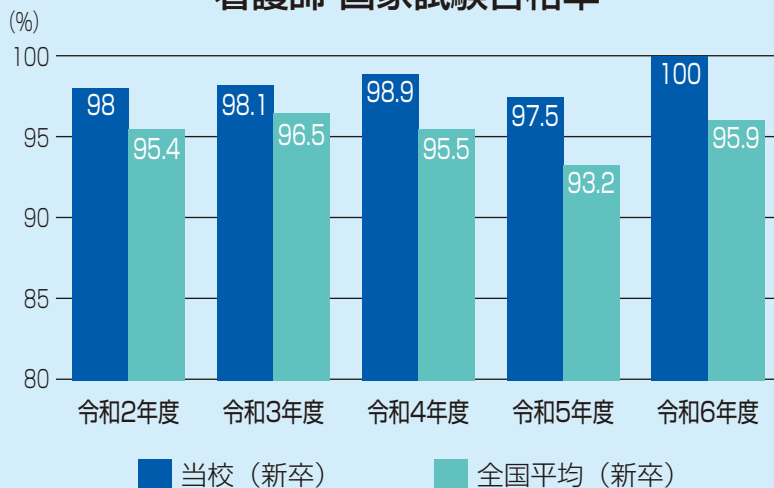
- ◆ 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構福山医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構呉医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構広島西医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構
四国こどもとおとなの医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構米子医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構浜田医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構災害医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構東京医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構東京医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構神戸医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構福岡病院
- ◆ 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター
- ◆ 国立研究開発法人国立がん研究センター
- ◆ その他、官公立病院、
岡山県内 施設

看護学科 主な進学先

助産師課程へ

- ◆ 独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校 助産学科
 - ◆ 独立行政法人国立病院機構
京都医療センター附属京都看護助産学科 助産学科
- など

看護師 国家試験合格率



ひかるくん



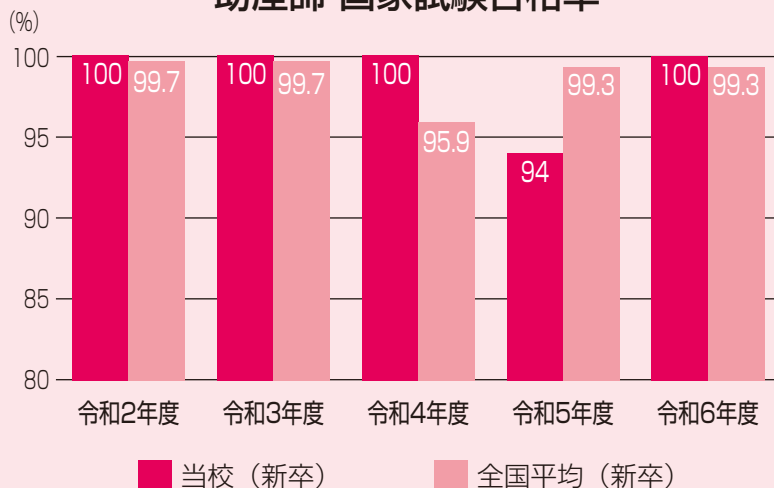
あかりちゃん

助産学科

主な就職先

- ◆ 独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構
福山医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構
四国こどもとおとなの医療センター
- ◆ 独立行政法人国立病院機構
高知病院
- ◆ 独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター
- ◆ その他、官公立病院、
岡山県内 産科施設

助産師 国家試験合格率



学費について

入学に伴う必要経費

看護学科

入 学 料	200,000 円
授 業 料 年額	500,000 円
教育環境充実費 年額	100,000 円

助産学科

入 学 料	350,000 円
授 業 料 年額	550,000 円
教育環境充実費 年額	500,000 円

※その他、テキスト、ユニフォーム、雑費等は実費となります。また、教育環境充実費は、入学後に多少変動する可能性があります。

各種(主な)奨学金制度について

当校は、大学等における修学の支援に関する法律による修学支援の対象機関です。詳しくは文部科学省HP：高等教育の修学支援新制度をご覧ください。

日本学生 支援機構

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、学生さんが安心して学べるよう「貸与」または「給付」する制度です。詳しくは <https://www.jasso.go.jp/> をご覧ください。

県奨学金

各県で募集しているものです。条件は県によって異なります。

高等教育の修学支援制度

令和2年度より始まりました「高等教育の修学支援制度」に、本校も対象校として令和2年7月28日付で認定されました。対象校として認定された場合、授業料等の減免や日本学生支援機構の給付型奨学金の支援が行われます。詳しくは、文部科学省のホームページをご覧ください。

社会人学生のための 専門実践教育訓練給付制度 【看護学科】【助産学科】

教育訓練給付制度とは、一定の条件を満たす雇用保険の在職者の方、または離職者の方が厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練講座を自己負担で受講した時に、教育訓練にかかった経費の一部について、給付金の支給が受けられるという制度です。詳しくは厚生労働省ホームページ「教育訓練給付制度」をご覧ください。受給には、入学前に本人の申請等が必要です。受給資格、申請方法などの詳細は、ハローワークにお問い合わせください。

国立病院機構の奨学金制度

看護学校に入学見込みの方または在学する方で、卒業後に貸与を受ける国立病院機構の病院において常勤職員として勤務する方を対象としています。各病院のホームページをご覧ください。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)もあります * 詳しくは教育ローンコールセンターへお問い合わせいただくか、公庫HPをご覧ください。

入学する貴方のサポートシステム 学生宿舎の生活が看護学生生活を支えます！

学生宿舎は同じ敷地内にあります。学生自治により自主的に運営されています。



全 室 個 室

第1学生寮 118室(男子学生の部屋もあります)
第2学生寮 60室

*助産学科学生の部屋もあります

冷暖房完備

ベッド・学習机・イス・クローゼット・エアコンが備え付けられています



学生宿舎にかかる必要経費(令和6年4月現在)

学生寄宿舎費	月額	(第1学生寮)3,000円 (第2学生寮)4,000円
管理費	月額	4,000円
学生宿舎整備費	月額	500円
光熱費・雑費	月額	約8,000円 (個人の電気使用量により異なります)
食費(平日のみ,1日3食)	日額	1,472円

* 以上は概算です。その他に掃除洗剤等の生活用品を購入するための雑費を学生自治会が徴収しています。



晴れの国
岡山へ

大原美術館

「烏城(うじょう)」の別名をもつ名城

岡山城

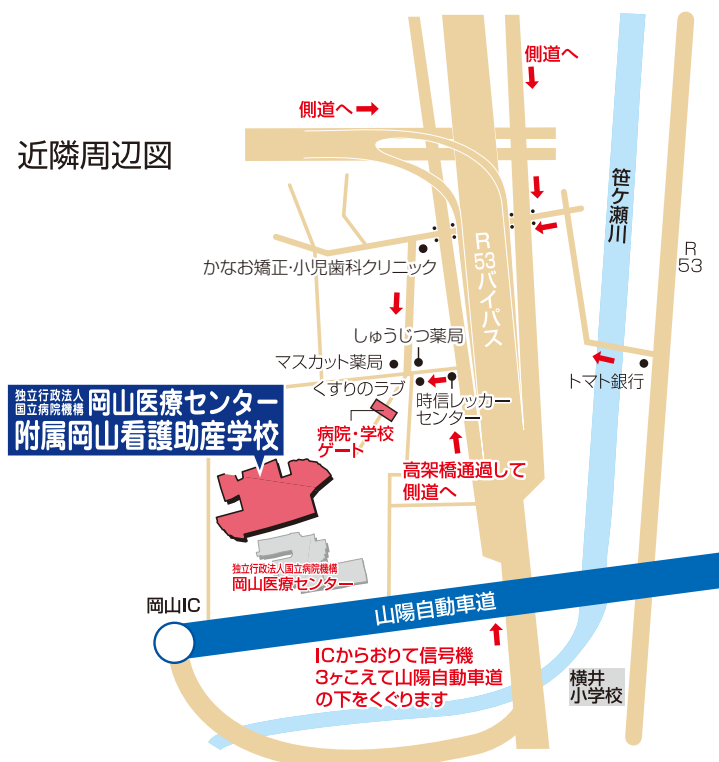
江戸時代のおもかげを伝える日本三大名園

岡山後楽園

倉敷美観地区



近隣周辺図



環境

本校は、岡山市街地（岡山駅）から北方約8kmに位置し、母体病院である、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターに隣接しています。

周辺は、桃の里と呼ばれ、自然環境に恵まれ、教育環境にも最適の場所にあります。交通も山陽自動車道岡山インターチェンジに近く、市街へのバスの便にも恵まれています。

交通機関

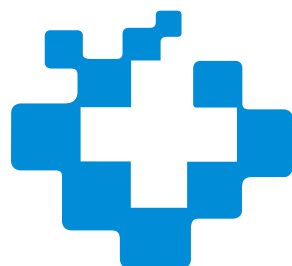
岡山駅東口バス乗り場7番

国立病院行き

終点下車

所要時間約25分





OKAYAMA

独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校

〒701-1195 岡山市北区田益1711-1
TEL 086-294-9292 FAX 086-294-9552
URL <https://okayama.hosp.go.jp/gakko/>
E-mail 504-n-school@mail.hosp.go.jp

